



08.1.7因州和紙の振興に熱心な藤縄議員がちぎり絵の寄贈に立ち会う



08.2.7会派「自由民主」の政務調査の折りに大阪府橋下知事と歓談(東京都)



08.2.8都立両国高校で中高一貫校の取り組みについて調査



08.1.30台湾台中県黄県長と交流促進について語り合う



08.7.25台湾台中県張副県長の歓迎を受ける



08.7.26台湾台中県との交流事業(サマースクール)でホームステイし文化交流

## 2008 平成20年

- 1月7日 「和紙ちぎり絵サークル」の方と平井知事に大作を寄贈
- 12日 国体アイスホッケー選手団壮行会で激励(教育民生常任委員長として)
- 20日 湖山消防分団出初め式(湖山公民館)
- 2月7~9日 会派「自由民主」政務調査(東京都)
- 2月10日 若桜町上川町議勉強会(若桜町)
- 11日 「道路特定財源堅持を求める県総決起大会」(倉吉未来中心)
- 24日 鳥取県体育協会表彰式(教育民生常任委員長として)
- 3月8日 東部バスケットボール協会総会(鳥取市)
- 15日 鳥大名誉教授井上順理先生 出版記念パーティー(鳥取市)
- 18日 一般質問(「砂丘らっきょう」の生産振興と食品表示について)
- 23日 ANA「白兔の森」で植樹(鳥取市伏野)
- 4月3日 「佐野川390周年青少年健全育成祈願」で松崎から三徳山まで17kmを歩く
- 6日 ボーイスカウト12団総会(湖山公民館)
- 15日 経済産業大臣政務官おぎわら健司参議院議員と「燃油高騰対策について」意見交換
- 19日 鳥取市子ども会連合会総会(鳥取市)
- 26日 鳥取県子ども会育成連絡協議会総会(倉吉市)
- 5月18日 湖山西地区運動会(湖山西小)
- 21日 旅館ホテル生活衛生同業組合総会(湯梨浜町)
- 23日 青少年育成鳥取市民会議総会・研修会(鳥取市)
- 6月20日 青少年育成鳥取県民会議総会
- 21日 ブラジル移住百周年記念式典(鳥取市)
- 25日 鳥取市戦没者慰霊法要
- 7月11日 鳥取市小P連正副会長研修会
- 23日 バレーオリンピック日本代表山本隆弘選手を励ます会
- 25~29日 台湾台中県との交流事業(サマースクール)で県内中学生(ジュニアリーダー)7人とホームステイをして文化交流
- 8月9日 しゃんしゃん祭り・市子連で子どもたち450人と踊る
- 24日 青少年育成鳥取県民大会(米子市)
- 上杉栄一市議会議長後援会夏期錬成の会
- 9月13日 千鳥会・ちどりバンド 湖山大石橋町内コンサートで演奏デビュー
- 16日 高校生マナーアップ作戦に参加(鳥取駅)
- 21日 和紙ちぎり絵展(中電ふれあいホール)
- 10月8日 一般質問(消防団の充実・活性化と常備消防の一元化について)
- 11日 子どもフェスティバル(とっとり出合いの森)
- 16日 東部地区高齢者健康運動会
- 19日 ふじなわ喜和国府町県政報告会
- 26日 ふくべらっきょう花マラソンに参加、完走
- 11月2日 湖山北4丁目町内運動会
- 4日 国立療養所長島愛生園慰問でハンセン病患者さんと交流



08.4.15おぎわら健司参議院議員



08.6.24いさき成器保育園の視察



08.9.10人形峠れんが加工場視察



09.2.7元県P連会長永井善郎氏祝賀会



08.10.26ふくべらっきょう花マラソンでゲストランナーの浅利純子さんと



08.11.4国立療養所長島愛生園慰問でハンセン病患者さんと交流



09.3.17ハンセン病の啓発資料コーナーの除幕式(読売新聞提供)

- 11月24日 東浜居組道路開通式(新温泉町)
- 12月10日 一般質問(世界ジオパーク認定を目指して)
- 31日 千鳥会年越し餅つき

## 2009 平成21年

- 1月6日 新年書き初め大会(県民体育館)
- 11日 湖山北4丁目新年総会(北四会館)
- 12日 冬期国体スケート・アイスホッケー選手団壮行会(県民体育館)
- 18日 湖山消防分団出初め式(湖山西公民館)
- 22日 国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター調査(東京都北区)
- 24日 福部村浜湯山町内で意見交換会(福部村)
- 25日 湖山西自治会総会(湖山西公民館)
- 2月5日 鳥取新樹会で県政報告(鳥取市)
- 7日 永井善郎氏(元県P協会会長) 文部科学大臣賞受賞祝賀会(米子市)
- 13~15日 全国子ども会育成中央会議・研究大会参加(広島市)
- 19日 2月定例県議会開会~3月25日
- 21日 ガールスカウト鳥取県第1回オレブ賞認定証受賞報告会(鳥取市) 鳥取放送大学世界ジオパーク研修会(県立図書館)
- 3月7日 鳥取県歯科衛生専門学校卒業式(鳥取市)
- 8日 鳥取県東部地区バスケットボール協会総会(鳥取市)
- 14日 姫鳥線(智頭-河原間)開通式
- 15日 鳥取県水泳連盟総会：県会長に就任(湯梨浜町)
- 17日 県立図書館ハンセン病資料コーナー設置除幕式
- 18日 県議会スポーツ振興議員連盟意見交換会
- 19日 一般質問(日本一の鳥取砂丘を守ろう。川と海からの視点で。)
- 20日 山陰海岸の世界ジオパーク加盟をめざす三府県議会議員の会設立総会及び第1回研修会(豊岡市) 鳥取県バスケットボール協会理事総会：県協会長に就任
- 21日 鳥取市環状道路開通式

# ふじなわ 喜和

2009 No.19 よしかず

発行：ふじなわ喜和  
鳥取市湖山町北4丁目812  
TEL&FAX 0857-28-2795

## とっとり情熱がわら版

### ●県政報告●

**県政にスポーツマンシップを!**  
愛するふるさと鳥取のため  
**県政の課題に全力投球!!**



おぎわら健司参議院議員と教育問題について意見交換

# 政策提案が実現

平成二十年二月定例県議会の一般質問で提案した「鳥取砂丘検定」が実現の運びとなり、二十一年一月三十日に実行委員会が設立された。

## 鳥取砂丘検定 実行委が設立

### 8月下旬実施へ

鳥取県が誇る景勝「取砂丘検定」の実行委員会（委員長・畦崎俊）が、鳥取砂丘の魅力を伝えるため、敬自然公園鳥取財団鳥取支部所長が三十日、

設立された。地元在住の研究者を中心に七月をめどに公式テキストを作成。五百人を目標に砂丘の魅力を県内外に伝える「砂丘通」の育成を図る。検定は国内最大級の海岸砂丘で独特の地形や起伏に富んだ砂丘の価値を伝えようと県などが企画した。八月下旬の実施を予定しており、実行委の初会合では砂丘の景観に加え、文化や保全など幅広い項目をテキストに盛り込む方針を確認。鳥取大学の赤木三郎名誉教授を委員長に問題作成委員会を立ち上げ、編集に着手することを決めた。

テキストはA4判五十六で千二百部を発行する予定。畦崎委員長は「地元の人々が何度も砂丘に足を運び、素晴らしい景色を周囲に説明してもらうための材料にしたい」と意気込んでいる。

## 優秀政策に 県から3件

全国知事会表彰

地方の政策立案能力向上を目的に全国知事会がつくる先進政策創造会議の初会合が二十七日、都内で開かれ、鳥取県の予算編成過程の公開など都道府県が取り組む優秀な政策二十八件が表彰された。

優秀政策は約千六百件の中から八分野で選出。鳥取県は行財政改革分野で予算編成過程の公開、人件費と事業費を合わせて示すトータルコスト予算分析の導入の二件、教育・文化分野で県家庭教育推進協力企業制度が選ばれた。

予算編成過程の公開は「財政民主主義の根幹に立ち戻るもの」、家庭教育推進協力企業制度は「地域社会の教育力が低下する中、現代社会の特色を的確にとらえた」と評価された。

## 政策提案が実現

鳥取県家庭教育推進協力企業制度\*平成15年6月定例県議会の一般質問で提案した「教育版ISO」創設が「県家庭教育推進協力企業制度」として実現し、現在県内約180社が県教育委員会と締結している。この制度が広く認められ、平成20年8月27日に全国知事会から「これからの分権型社会の目指す取組として他の都道府県の模範となる」として表彰された。

## 有害サイト接続に規制

### 中高生の保護者ら努力義務

鳥取県の中永広樹教育長は二十六日の県議会本会議で、犯罪に巻き込まれるなどの問題が起こっている中高生の携帯電話によるインターネット利用について、県青少年健全育成条例を改正し、一定の規制を設ける考えを示した。保護者や情報サイト開設業者に対して、有害情報を除去する機能

県教育長 条例改正方針

を設定する努力義務を課すことなどを検討する。藤縄喜和議員（自由民主）が、高校生の所有率が94%に上っている携帯電話が与える影響について教育長の認識を求めた。中永教育長は、中学生が携帯電話で有害情報サイトに接続し、事件の被害者だけでなく、加害者にもなっていることを指摘し、「国や自治体で有害情報から子どもを守る仕組みが大事だ」と強調した。

山口県は条例によって、有害情報を除去するフィルタリングをかける努力義務を保護者や情報サイト開設業者に課しており、中永教育長は「鳥取県もこれを参考に、条例の早急な見直しが必要だ。各方面と連携していきたい」と述べた。

県青少年健全育成条例は、青少年への有害環境の浄化を目的に一九八一年に施行。県や市町村、県民の責務のほか、罰則などを設けている。

## 人権条例

# 廃止案を「継続審査」

### 県議会 提案議員6人 離脱

廃止条例提案に名を連ねた十八議員のうち、六議員が離脱して「継続審査」となる「珍事」であった。結局、人権条例は議論の末、私の主張通り平成二十一年二月定例議会において「廃止」となった。

鳥取県の九月定例議会最終日の十四日、六会派十八議員が提案した施行停止中の人権侵害救済条例を廃止する条例案は「継続審査」とする総務警察常任委員長報告を無記名投票で採決した結果、賛成二十二、反対十二で継続審査に決まった。当初の可決見通しが一転したのは、議員間の調整不足と政治力学が作用した点が背景にあるが、不可解では残る。「議会の常識」「議員発議の重み」が問われる結果といえよう。（本社・小谷和之）

## 問われる「議員発議の重み」

廃止条例案は八日の本会議に提案された。議案提案書には自民党クラブ、自由民主党、公明党、共産党、えがりて、さすなな議員の名を連ねたが、手続で連名議員の構成や原文確認をめぐって会派、議員間で「ちゃん」と話し合った。「何も聞いてない」とする水掛論に発展。直前まで混迷を極めた。

本会議では、藤縄喜和（自由民主）、浜田妙子（さすな）、錦織陽子（共産党）の三議員が施行停止中の条例について「法的効力は事実上消滅している」「議員自らの手で責任を果たすべき」「メン

ツにこだわった廃止を送りは許されないと委員長報告に反対の立場で討論。これに対し、前田八寿彦（自民党）、山田幸夫（信）の二議員は執行部が新たな救済策を検討中であることなどを挙げ「唐突で拙速。廃止するの必然性ははない」「見直し検討委員の意見書は議員提出の人権条例が根拠」と継続審査に賛成討論した。

本会議採決では廃止条例案に名を連ねた十八議員のうち六議員が「離脱」した。議員の意思表示が第三者に分からない無記名投票となったこと一部から不満の声が上がリ、閉

# 2年間存続へ

### 県議会が可決

鳥取県議会は定例会最終日の十八日、鳥取年度から二年間存続させる決議案を可決し、県立三高校の専攻科の存続陳情を不採択とする教育民生常任委員長報告を可決した上で、

本会議終了後、中永野田修、湯原俊一、浜田妙子、森岡俊夫、銀杏泰利、沢紀男の八議員は、平井伸治知事と山田修平県教委委員長に対し、将来的な廃止を念頭に置いた上で入学に際しては▽一部の高校卒業生に偏らぬ▽家庭の経済状況などを考慮した選抜試験に改める一などを文書で申し入れた。

同常任委員長が二校の存続決議の提案理由を説明、賛成、反対討論を経て、賛成多数で可決した。一方、同決議に反対した松田一三、広江式

本会議終了後、中永野田修、湯原俊一、浜田妙子、森岡俊夫、銀杏泰利、沢紀男の八議員は、平井伸治知事と山田修平県教委委員長に対し、将来的な廃止を念頭に置いた上で入学に際しては▽一部の高校卒業生に偏らぬ▽家庭の経済状況などを考慮した選抜試験に改める一などを文書で申し入れた。



## 世界ジオパーク再挑戦

### 3府県で学術面サポート

平井知事表明

鳥取県の平井伸治知事は十日の県議会本会議で、山陰海岸の世界ジオパーク登録に向け、来年一月上旬に兵庫、京都との三府県で学術面をサポートするワーキンググループを設置することを明らかにした。併せて知事部局に地質学を専門とする研究員を配置し、課

田村宗樹准教授（地質学）を中心に民間や大学の研究者で構成。三府県ごとに分科会を設け、申請書の内容の検討、地質に焦点を絞った説明や見学コースの立案に携わる。専門研究員は調査研究のほか、府県が「これまで三府県が一步引いていた」という反省がある。学術面でのサポートに主体的に取り組むたい」と述べた。